

平成28年度横浜国立大学法科大学院法学未修者コースA日程入学試験
小論文試験問題（試験時間 90 分）

問題1 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

(注) 著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
「岩波講座 現代の法1：現代国家と法」
石川健治『承認と自己拘束—流動する国家像・市民像と憲法学—』（岩波書店、1997年）
43頁15行目～46頁2行目
※出題の都合上、一部表記等を改めた部分がある。

【設問 1】

下線(1)「全く新しい近代的な身分制社会」とあるが、これは近代社会のどのような特徴を指しているか。また、その特徴は今の日本社会にも存在していると言えるか。日本社会における具体例をあげつつ、300字程度で述べなさい。（配点 20 点）

（下線部(1)に該当するのは44頁6行目29字目～42字目）

【設問 2】

下線(2)「「市民の身分」は構造分化せざるを得ない」とあるが、どういうことか。200字程度で簡単に説明しなさい。（配点 15 点）

（下線部(2)に該当するのは44頁17行目26字目～44字目）

【設問 3】

下線(3)「近代国家は、まさしく解放の主体として現れる」とあるが、どういうことか。200字程度で簡単に説明しなさい。（配点 15 点）

（下線部(3)に該当するのは45頁18行目6字目～26字目）

問題2 次の資料を読んで、以下の各問いに答えなさい。

(注) 著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
九井諒子『ひきだしにテラリウム』（イースト・プレス社、2013年）より「遺恨を残す」
59頁～66頁

【設問 1】

作者は何に疑問を抱き、あるいはどのような問題意識から、この作品を書いたと考えられるか。次の2つの語を用いて200字程度で説明しなさい。（配点 25 点）

- ・「自然環境の多様性」（あるいは「生物多様性／生態系の多様性」）
- ・「文化や宗教の多様性」（あるいは「多様な文化や宗教」）

【設問 2】

【設問 1】であなたが答えた、作者の抱いた疑問や問題意識に対して、あなたはどのような合理的な解決策を提案するか。私たちが生活している、現在のこの社会（世界）を前提に、400字程度で述べなさい。（配点 25 点）

（以上）